



経済情報さっぽろ

Economic Information

2015 新春号 No.173



認証式の様子



市長への製品紹介



新規認証製品の一部をご紹介します。



札幌産ラベンダーのアロマシリーズ



手描きの染付け磁器



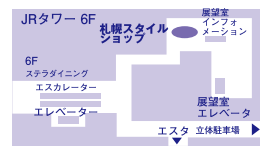
木製コートハンガー

平成 26 年度札幌スタイル認証製品が決定しました。

「札幌スタイル」とは、札幌市が認証している地域ブランドです。札幌の魅力を形にした札幌らしい製品を認証し、市内ものづくり企業を支援しています。

ブランド設立 10 周年を迎えた今年度は新たに 7 社 22 製品の新規認証が決まり、去る 12 月 12 日 (金) 市長会議室にて開催された認証式において、上田市長から各企業の代表者に認証書が授与されました。

新たに認証された製品は一部を除き、札幌スタイルショップ(北5西2JRタワーイースト6階展望室入口)で販売しています。

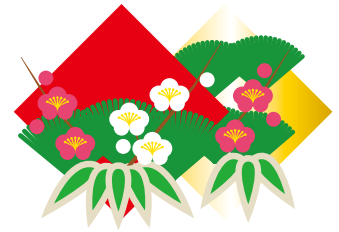


CONTENTS

札幌スタイル	1
年頭のごあいさつ(札幌市長 上田文雄)	2
年頭のごあいさつ(株式会社北洋銀行 取締役頭取 石井純二)	3
情報 BOX	4~6
がんばれ!! 札幌の企業(第 23 回)	7
ICC 入居企業紹介 ②	7
データで見る! さっぽろ経済の動き	8
中小企業経営セミナー	8



年頭のごあいさつ (平成二十七年)



札幌市長 上田 文雄

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

私が市長に就任してから 11 年半が経過しました。この間、私は「市民がまちづくりの主役である」という考えのもと、皆さんと共にさまざまな課題を乗り越えながら、市政を運営してまいりました。中でも、ごみの大幅な減量が清掃工場 1 カ所の廃止につながり、470 億円もの経費を節約するに至ったことは、まさに「市民力」の賜物であり、そのことを多くの市民と共有できた事例であったと思っています。また、まちづくりセンターを拠点に千を超える地域の自主的な取り組みが生まれたほか、市民の活動を応援する「さぽーとほっと基金」の累計寄付額は 5 億円に達し、約 700 もの活動に助成することができました。これらは、札幌のまちに市民が自ら考えまちづくりを行う「市民自治」が根付いた成果であると実感しています。

そして、私はこの 11 年半の間、一貫して「人を大事にする」ことを活動の原点に据え、誰もが安心して暮らせるまちづくりにも力を入れてまいりました。子どもを生み育てやすい環境をつくるため、子育てサロンの整備や保育所の定員の拡大を進めたほか、高齢者を地域で見守る活動や障がいのある方の就労を支援する取り組みなども行ってきました。また、「市民の安全で安心な暮らしを守る」ことへの思いを一層強くした出来事が、4 年前の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故です。それ以後、原子力発電に依存しない持続可能な社会の実現を目指し、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導入促進に努めてまいりました。昨年、脱原発依存社会の実現に向けた道筋を示す「札幌市エネルギービジョン」を策定しましたが、これを皆さんと共有しながら、一丸となってさらなる取り組みを進めていきたいと考えております。

札幌は社会基盤が充実し、都市として成熟期を迎えています。そうした時代にあっても持続的に都市が発展していくためには、市民一人一人が持つ創造性を磨き高め、十分に発揮しやすい環境を整えることが大切です。そうした考えのもと、平成 18 年に「創造都市さっぽろ」宣言を行い、文化芸術がもたらす感動や共感から、新たなそして多様な価値を見だし、それを発信する機会をつくってまいりました。一昨年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」の加盟を果たしたことは、これまでの取り組みが世界から評価されている証であります。そして昨年、創造都市さっぽろの象徴的な事業として「札幌国際芸術祭」を初開催しました。創造性にあふれ、私たちの心揺さぶるアートの数々に触れることを通して、新たな視点でまちの未来を考える契機にすることができたと感じています。また、この芸術祭では、延べ 4 千人を超えるボランティアの皆さんに運営を支えていただいたほか、160 を超える連携事業が行われるなど、まちに一体感をもたらす意義深いものになりました。こうした創造性を生かした取り組みを積み重ねて、創造都市という札幌の新たなブランドを世界へ力強く発信していきたいと考えております。

北海道の中心都市として札幌が発展してきたのは、道内各地の食や自然などの豊富な資源を享受してきたからにほかなりません。私は、北海道をもっと元気にするためには、札幌が持つ都市機能と道内の魅力や資源を結び付けることが重要と考え、道内市町村との連携を強化する取り組みをしてまいりました。その一環として始めた「さっぽろオータムフェスト」は、昨年、過去最大となる 200 万人を超える方が訪れる、札幌の一大イベントになりました。そこには、北海道じゅうから素晴らしい食が集結することを通して、たくさんの方が北海道と一緒に盛り上げていこうという思いが強く表れていると感じています。

また、札幌・北海道の国際的な認知度を高めるとともに、経済の活性化につなげるため、成長が著しいアジアを中心に、強みを持つ外食産業など食関連産業の海外展開を支援したほか、北海道の魅力的な映像の発信による観光客の誘致にも取り組んでまいりました。これからも、道内の市町村と手を携えながら、北海道全体の発展に力を入れていきます。

将来に渡って札幌が輝き続けるためには、まちの顔となる都心部の魅力を高めることが大切です。その一つの象徴として昨年、にぎわいや憩いが生まれる空間「北3条広場」が完成し、文化芸術や市民活動の拠点となる「市民交流複合施設」の整備も間もなく着工するところです。そして、都心の利便性を高めるため、昨年着手した路面電車の路線を環状化する工事についても、年内の開業を目指して着実に進めてまいります。

また、昨年 11 月、市民や経済界など多くの方々からの意見を踏まえ、かつて札幌を大きく変えるきっかけとなった「冬季オリンピック・パラリンピック」の招致を表明しました。世界最大のスポーツイベントの開催は、子どもたちの夢や誇りを持つ心を育むとともに、都市基盤の更新やバリアフリーのまちづくりを加速させる絶好の機会となります。そして、市民の皆さんと一体となってこれを成し遂げることで、まちに連帯感を生み出し、札幌を新たなステージへと押し上げることも期待できます。招致から開催に至るまで、さまざまな困難を乗り越えていかなければなりません。その取り組みを通して育まれる「鍛え抜かれた市民力」は、札幌の未来を切り開く確かな力になると信じています。今後、関係団体とも連携し、市民の皆さんと共に招致の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

これからの札幌は、人口減少や超高齢社会の到来といった、時代の大きな転換期を迎えます。そうした中でも、先人たちが築き上げてきたこのまちの魅力と輝きを次の世代へ引き継ぎ、札幌市まちづくり戦略ビジョンに掲げる「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」、そして「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」を実現するために、全力を傾けてまいります。

どうか皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



北海道の豊富な資源を活かし果敢な挑戦を (平成二十七年)

株式会社北洋銀行 取締役頭取 石井 純二



新年あけましておめでとうございます。
皆さまには、ご健勝で新年を迎えられたことと存じます。
年頭にあたりまして、昨年を振り返るとともに本年の北海道経済を展望させていただきます。

【2014年を振り返って】

昨年の道内経済を振り返りますと、4月から実施された消費税率引き上げ（5%→8%）に伴う駆け込み需要の反動減の影響が予想以上に長引いたことで、回復の動きに一服感が見られた一年となりました。個人消費は雇用環境の改善を背景として、飲食料品を中心に徐々に持ち直しましたが、自動車などの耐久消費財には反動減の影響が残りました。住宅投資は持家を中心に低調に推移しました。公共投資は、アベノミクスによる財政出動効果は顕著でしたが、人手不足による工事の遅れもあり、前年の水準を下回りました。これに対して、外国人観光客は関係が冷え込んでいた中国・韓国からの観光客が回復に転じたほか、新千歳空港の東南アジア路線の増便が追い風となり、好調を維持しました。これらの状況を踏まえて、当行では平成26年度の実質成長率をマイナス0.4%、名目成長率を1.0%と見込んでおります。

昨年は2月に行われたソチオリンピックのスキージャンプ競技において、当時41歳の葛西紀明選手（下川町出身）が銀メダルを獲得するという明るいニュースで幕を開けました。葛西選手は、年末には自らが持つワールドカップの最年長優勝記録をさらに更新するなど大活躍の一年となりました。ひと回り以上も年齢の離れた海外の選手からも「レジェンド（生ける伝説）」として称賛される姿は道民として誇らしく思えます。ベテランが活躍する一方、2年連続でワールドカップ総合優勝を果たした高梨沙羅選手（上川町出身）や、プロ野球史上初となる「二桁勝利・二桁本塁打」を達成した北海道日本ハムファイターズの「二刀流」大谷翔平選手など、次代を担う若者の存在も特筆すべきものがありました。今年も彼らの熱いプレーが私たち道民に勇気を与えてくれるでしょう。

【2015年の北海道経済展望】

次に、本年の北海道経済についてですが、当行は昨年12月に『平成27年度北海道経済見通し』を発表しました。その中で実質成長率は0.9%、名目成長率は1.3%とプラス成長を予測しております。個人消費は、根強い人手不足感を背景に雇用・所得環境の改善が続くことに加え、消費税率引き上げの影響が一巡することから、今後は持ち直しの動きを強めていくでしょう。設備投資は、札幌市内において複数の大型再開発事業が進んでいるほか、火力発電所新規着工などのエネルギー関連投資、北海道新幹線開業に備えた企業の投資も活発なものとなるでしょう。公共投資予算は概ね前年並みの水準とみられます。また、観光関連は、為替が円安基調で推移していることや、消費税免税制度の拡充などが追い風となり好調を維持するでしょう。1月からは竹鶴政孝・リタ夫妻をモデルとした連続テレビドラマ「マッサン」の舞台がいよいよ大阪から余市町に移ることで、北海道の注目度が上がり交流人口の増加に寄与することが期待されます。以上の点から、本年の北海道経済は持ち直しの動きが明確になるとみています。

【オリンピック招致活動を地域見直しの契機に】

札幌市は昨年11月に、2026年の冬季オリンピック・パラリンピックを招致することを表明しました。国際的なスポーツの祭典の開催は、経済的には、インフラの整備などの大きな波及効果が見込まれます。実際に、前回の札幌オリンピック（1972年）は、開催に合わせて地下鉄や地下街、市役所本庁舎などの主要施設が整備され、札幌の街並みが近代化し発展する原動力となりました。それと同時に、札幌の国際的な知名度が向上し、国際交流が拡大するなど様々な効果が期待されます。オリンピックの招致活動は、単に札幌開催を目指すという目的のみならず、未来の札幌市、そして北海道の姿はどうあるべきか、ということを見つめ直す絶好の機会となるのではないのでしょうか。

【豊富な資源を活かし果敢な挑戦を】

北海道は全国に先がけて本格的な「人口減少社会」に入っており、生産年齢人口の減少とマーケットの縮小という問題に直面しています。今後も北海道経済が活力を保ち、成長していくためには、「高品質な食品産地」「観光のポテンシャル」「再生可能エネルギー利用の拡大」など、北海道の豊富な資源を活かした取り組みに果敢に挑戦し、北海道の新たな道標と価値を創造していくことが不可欠です。また、女性や高齢者の活躍の場を広げていくことも重要でしょう。私ども金融機関といたしましても、多彩なコンサルティング機能や強い地域密着力を生かして、北海道発展の一助となるべく努力してまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成26年度札幌市産業経済功労者表彰

「札幌市産業経済功労者表彰」は、長年にわたって、札幌の産業経済の振興・発展に多大な貢献をされた方の功績をたたえるものです。

今年度は、11月20日(木)、産業経済功労者表彰を含め、4つの表彰式を合同で行う「さっぽろ市民表彰式」を札幌パークホテルにおいて開催しました。



平成26年度産業経済功労者 (50音順)



えんどう もとし
遠藤 元士さん
札幌丘珠鉄工団地協同組合 理事長
八条工業(株)代表取締役



こうち ゆういち
光地 勇一さん
札幌商工会議所 常議員
札幌中央アーバン(株)代表取締役社長



きくち こう
菊池 恒さん
札幌市商店街振興組合連合会 相談役理事
札幌狸小路商店街振興組合 理事長
(株)キクヤ 代表取締役社長



すずき としゆき
鈴木 俊幸さん
一般社団法人北海道発明協会 会長
寿産業(株)代表取締役社長

平成26年度札幌市優良工場等表彰

11月19日(水)、市内商工業の振興を奨励するため、特に優良な工場、店舗、協同組合、その従業員などを表彰する「札幌市優良工場等表彰式」が札幌パークホテルで行われ、6団体、11個人の方が表彰されました。

工場の部 (2件)

- (株)池田歯車製作所(札幌市西区)
- (株)きのとや(札幌市東区)

店舗の部 (3件)

- (有)マルミ新孝青果(札幌市中央区)
- (株)富士生花店(札幌市東区)
- (株)フジプライズ北海道支店(札幌市豊平区)

協同組合等の部 (1件)

- 北海道菓子工業組合(札幌市中央区)

工場従業員の部 (4名)

- 工藤 鉄也さん((株)いか工藝)
- 斉藤 秀利さん(鷺尾ウッドワーク(株))
- 鈴木 茂実さん(小南印刷(株))
- 寺岡 敏三さん(ウエハラ産業(株))

店舗従業員の部 (4名)

- 熊谷 守夫さん((株)今本間商店)
- 佐藤 弘さん((有)全木内商店)
- 東出 幸治さん(星野水産(株))
- 藤井 静男さん(星野水産(株))

組合等職員の部 (1名)

- 長谷川順子さん(北海道型幹工業協同組合)

技能指導者の部 (2名)

- 菊地 京子さん(菊地文化洋裁教室)
- 千葉 隆博さん((有)宏栄左官)



表彰に関するお問い合わせ先

札幌市経済局産業振興部経済企画課 電話：011-211-2352

セミナー・マッチングイベントのご案内

イベント名	「共感」を生むものづくり ～やればできる！ファンを獲得する商品・サービスづくりの本質と方法～
概要	ものがあふれる時代に、顧客の心に響き、「共感」を呼ぶ商品やサービスを、どうすれば生み出せるでしょうか。本セミナーでは、(株)西友、ディズニーストア・ジャパン(株)等で長年バイヤー・商品開発に携わり、多くのヒット商品を手掛けてきた松原 亮子氏にご講演いただくほか、ファンを獲得しヒットする商品・サービスに潜む共通点を探るトークセッションを行います。ターゲット顧客を絞り込み、そしてその顧客の共感を呼ぶ商品をかき生み出していか、これからのものづくり企業に求められる、結果を出す商品開発について語ります。またセミナー終了後、交流会も開催いたします。 講演者：Office MATSUBARA 代表 松原 亮子 氏 ファシリテーター：有限会社 IEP 取締役 高橋 尚基 氏
開催日時	平成 27 年 2 月 10 日 (火) 15:30～17:30 (交流会 17:45～18:45)
会場	ICC (インタークロス・クリエイティブ・センター) クロス・ガーデン (札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 札幌市産業振興センター1階)
申込方法	下記までメールまたは FAX にてお申込みください。 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 産業企画推進部 【定員】80名(先着順) FAX:(011)815-9321 E-Mail:ibcenter@sec.or.jp 【申込期限】平成27年2月3日(火)

イベント名	「農業経営にイノベーションを！」 ～第2回札幌イノベーションセミナー～
概要	食・農業分野を中心に、IT の活用による経営課題の解決、IT に立脚したビジネスモデルの普及、啓発を目的にセミナーを実施いたします。 農業機械メーカー勤務の経験を生かし、自動運転トラクター、GPS などの技術を活用し、音更町で「IT 農業」を実践する三浦農場代表 三浦尚史様に基調講演をいただくほか、IT 技術を活用したイノベーション事例についてご紹介いたします。
開催日時	平成 27 年 2 月 23 日 (月) 13:30～16:00
会場	ロイトン札幌 3階 ロイトンホールB・C (札幌市中央区北1条西11丁目1)
申込方法	下記の申し込み専用サイトまたは FAX にてお申込みください。 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 札幌市ITイノベーション研究会事務局 https://www.sapporo-it-pro.jp/registration/it-innovation/ 【定員】200名(先着順) FAX:(011)807-6005 【申込期限】平成27年2月20日(金)

イベント名	「6次産業化事例に学ぶ新たなものづくりのための展示・相談会」 ～新たなものづくりに向けて必要なこと～
概要	道内の1次生産者と、札幌市を中心とする2次産業者、3次産業者の連携を促進し、6次産業の活性化を図るため、マッチングイベントを開催します。6次産業化を実践する、かわにしのお農園(株)井社長による基調講演をはじめ、6次産業化に向けて生産から販売までに必要となる計画・衛生管理・資金・販売等の情報に関するセミナーや、実際の成功事例や各種加工技術をもった OEM 生産が可能な企業による商品展示及び説明会・相談会を実施します。
開催日時	平成 27 年 2 月 24 日 (火) 13:30～17:00
会場	ロイトン札幌 3階 ロイトンホールB・C (札幌市中央区北1条西11丁目1)
申込方法	下記の申し込み専用サイト、FAX またはメールにてお申込みください。 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 産業企画推進部 http://www.sec.or.jp/simple/6ji261/index.html 【定員】200名(先着順) FAX:(011)815-9321 E-Mail:ibcenter-admin@sec.or.jp 【申込期限】平成27年2月20日(金)

フード特区関連大型設備投資利子助成金のお知らせ

札幌市は、国内外の市場ニーズ等に対応した商品開発及び供給体制の確立を図り、食の生産拡大と高付加価値化を促進するため、設備投資を行う食品関連産業の中小企業者に対し、融資に係る利子の一部を助成します。

対象者

次のいずれかに該当する中小企業者

- ・国のフード特区(北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区)に係る利子補給の対象となる融資を受けた中小企業者
- ・食の生産拡大や高付加価値化に資する設備投資(1億円以上のものに限る)を行うための融資を受けた中小企業者

助成内容

- ・利子助成率:0.5%以内(1年度の限度額250万円)
- ・利子助成期間:5年以内

主な条件

- ・設備投資は札幌市内で行われるものであること。
- ・市税を完納していること。

お問い合わせ・申請先

札幌市経済局産業振興部産業振興課
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目
北海道経済センタービル2階
電話:011-211-2372
FAX:011-211-2366

～（一財）さっぽろ産業振興財団からのご案内～ 財団のビジネスコーディネーターをご紹介します！

（一財）さっぽろ産業振興財団では、幅広い実務経験をもった民間出身者等が、中小企業の皆様や、さまざまな組織・団体、研究機関などとの Face to Face のネットワークづくりを通じて、様々なコーディネートや支援活動を行っています。

具体的には、「食」を切り口とした専門の支援コーディネーターが、中小企業の皆様のところへ直接伺い、現場の生の声を通じて課題を把握し、適切な支援メニューや関係先を紹介するなど、企業の皆様と連携し課題の解決を図っています。

<相談事例>

- ・海外への輸出を考えているが、手続きがよく分からない
- ・商品に付加価値をつけて商品力をUPさせたい
- ・新商品、試作品を開発するにあたって補助金等を活用したい
- ・適切なビジネスパートナーを紹介してほしい

このような、企業が日々抱える悩みやニーズに対して、コーディネーターが様々な角度から経営アドバイス、コーディネートを行い、企業の課題解決や新事業展開を全力でサポートします（費用は無料）。

アドバイス、コーディネートをご希望の方は当財団の産業企画推進部までお気軽にご連絡ください！

【支援コーディネーターご紹介】



加藤

専門：食関連海外バイヤーの開拓及び商流構築支援

業務：海外の販路開拓に関する相談全般。海外の輸入業者の案内・紹介。諸外国の輸入制度・規制に関する助言などをいたします。



林

専門：食に関する道内輸出促進に係る各種サポート

業務：輸出可能企業や商品の調査を行い、食関連事業者の輸出促進の支援に努めていきます。



下家

専門：経営管理、商品企画、品質管理、製造工程管理、労務管理（衛生管理者・安全管理者）等

業務：札幌市内のものづくり・食関連企業と道内の一次生産者との連携を構築します。6次産業活性化推進補助事業も担当しています。



西條

専門：道内一次生産者とのネットワーク構築及びコーディネート

業務：道内各地の一次生産者のニーズ・シーズを把握し、札幌市内のものづくり企業等とのビジネスコーディネートを行います。



宮崎

専門：農業行政

業務：道内一次生産者と市内ものづくり企業との連携構築。国内販路拡大に向けた支援を行います。



お問い合わせ先

（一財）さっぽろ産業振興財団 産業企画推進部

電話：011-820-2062 FAX：011-815-9321

がんばれ!札幌の企業

第23回 北海道チャレンジアート&プロダクツ

一般社団法人

代表理事 加納 尚明

〒060-0806

札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル3階

電話: 011-700-5522 FAX: 011-700-1011

<https://www.facebook.com/HokkaidoCAP?fref=ts>

北海道チャレンジアート&プロダクツは、ソーシャルビジネスに取り組んでいる企業で、平成26年6月、北海道に生まれただけの団体です。障がい者の芸術活動の普及・啓発を通して、障がいのある人たちの社会参加と仕事づくりを進め、広く社会に貢献する事を目指しています。

今、障がいのある人たちの社会参加が求められています。アート作品を通し、障がいのある人たちの生き方や、仕事など様々な方面で総合的に支援する仕組みを作り「障がいがあっても生きやすい社会」を実現していこうと日々活動を続けています。

また、障がい者の人たちの作品には、見る人を引き付けてやまない、魅力的な作品が多く、このまま眠らせておくのではなく、ライセンスビジネスのモデル化を目指し、デザイナーと連携し、商品化を進めているところです。

「障がい者アート×デザインセミナー」と題し、昨年9月と11月にセミナーを開催し、沢山の企業の方が参加してくださいました。

平成27年1月5日(月)7時45分～50分の約5分間ですが、NHK番組「おはよう北海道」内で北海道の障がい者アートの今後についての特集が放送され、『今年にかける』というタイトルで、アートセンターあいのさとに勤務し、

北海道チャレンジアート&プロダクツの活動の中心メンバーの早坂清花さんの取り組み等が放送されました。

障がい者アートの製品開発に興味のある方は、是非ご連絡をお待ちしています、とのことでした。



インタークロス・クリエイティブ・センター クリエイティブルーム 入居企業紹介

2

「アイデアをかたち」

19歳からサラリーマンとして社会に出て、4社目の印刷会社で30年ほど勤務していましたが「自分のやりたいことをやってみよう」との思いから52歳で退職し、今に至ります。当初は周りの人達のほぼ全員から「そんな無謀なことはやめなさい!」と言われたことを覚えています。

ある日、吹雪の日に車で走っていると歩道のバス停に高校生の長い列ができており、全員が高倉健の八甲田山の行軍のように吹雪の中でひたすら下を向いて並んでいるのを見ました。

女子は足を真っ赤にしてじっと立っており、バスの運転手さんが「今はまだずっと手前のバス停を通過したばかりだからあと20分はかかります」と学生たちにメールでもしてあげれば、道路の向かい側にある校舎の中や近くのコンビニで待つことができるのになあ、と思ったのが「DOCOIL(ドコイル)」というオリジナルのバスロケーションサービスを立ち上げたきっかけです。

当初は市内の路線バス3社に営業しましたが、国がバス会社とともにGPSを使った大掛かりなシステムを少しずつ進める機運もあったのと、市民のインフラとしてのバス会社が民営でありながら公的な要素が強く、また余分な予算もとれないという理由から、商品力は認めてくれるもののなかなか検討してもらえませんでした。そこで「ターゲットを絞ってまずは実績を作ろう!」という考えから自動車学校と幼稚園の送迎バスで使ってもらうことにしました。

札幌は雪が降ります。バスは地下鉄と違い道路状況に左右されて、運行ダイヤを正確に守ることはほぼ不可能です。

バスの利用者は雪の中ひたすらバス停で待つことしかできません。でも自分の利用するバス路線の運行状況がわかれば、バスが遅れる時も早い時も、いつもタイムリーに時間の無駄なく

バスに乗ることができます。2004年に起業して10年になりましたが、携帯電話やスマートフォンが普及している現在では徐々に利用者も増え、高い評価を頂いております。

また5年前からは小学校と中学校での「AIR KID'S(エアークイズ)」というICカードを利用して、児童が登下校するタイミングで父母にメールが届く安心メールのシステムや、幼稚園での「LITTLE LINE(リトルライン)」という「お手紙」に代わるメールサービスも開発・販売しております。

ICCには、豊平の施設で「インキュベーション入居」として3年間お世話になり、現在は「システムのアプリ化」プロジェクトを立ち上げ活動しています。

新ICCは、立派な施設と多方面からの刺激的なイベントなど環境はとても素晴らしく、日々の活動を充実したものにしなければと感じております。



以下、当社が取り組んでいる他の業務を紹介します。デザイン<WEBコンテンツ・グラフィック・パッケージ> WEBアプリケーション・システム開発 木と磁石の「tukkunシリーズ」(札幌スタイル認証)企画・制作・販売

有限会社 ヴァズ

代表取締役 比嘉 秀郎 ひが ひでろう

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 ICC-2F-D

電話: 011-374-5422 FAX 011-374-5433

h-higa@vas.co.jp

<http://www.vas.co.jp>

クリエイティブルーム 入居募集

インタークロス・クリエイティブ・センター (ICC) では、札幌市におけるコンテンツ産業の振興に寄与することのできる事業(プロジェクト)を創出するプロジェクトメンバーによる入居を随時募集しています。詳しくはICC事務局へお問い合わせください。(電話 011-817-8911)

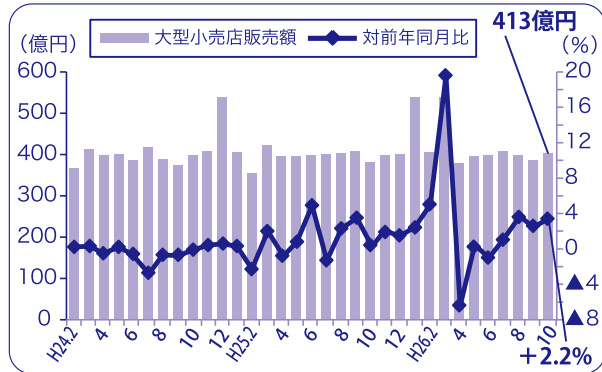
データで見る！さっぽろ経済の動き

統計データの一部から最近の札幌経済の動きを紹介します。

最近の札幌経済は、緩やかな持ち直し基調にあるものの、一部に弱い動きがみられます。

大型小売店販売額の推移（札幌市）

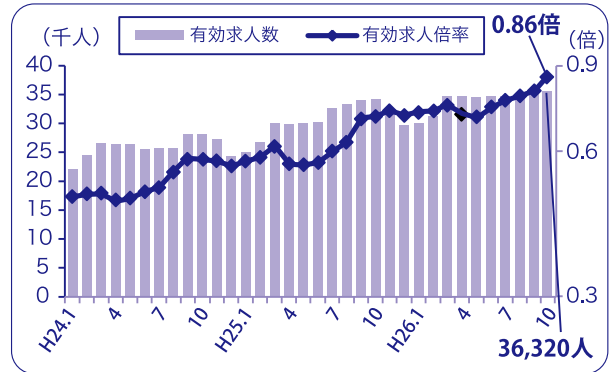
平成26年10月の大型小売店販売額（札幌市）は、413億円
で、4カ月連続で前年同月上回りました（+2.2%）



＜資料＞ 北海道経済産業局

求人数・有効求人倍率の推移（札幌圏）

平成26年10月の有効求人倍率（札幌圏）は、0.86となり
56カ月連続で前年同月上回りました（+0.12）



＜資料＞北海道労働局

その他、統計情報について詳しくは、札幌市経済局ホームページ
「データで見る！さっぽろ経済の動き」をご覧ください。
<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/jyuhou/data/index.html>



データで見る！
さっぽろ経済の動き

中小企業経営セミナー

産業振興センターの
中小企業経営セミナーを
ご利用ください。

ホームページ
(<http://seminar.sapporosansin.jp>) からも申し込みできます。

2015年2月 中小企業経営セミナー（受付中）

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
製造現場で実践したい衛生管理	食品加工業者が抱える問題課題を提起し、その解決策を実際の取組事例を交えながら学ぶ。	2月12日（木）	13:30～15:30	36名	2,000円
創業塾（第11回）土曜コース	開業準備編	2月14日（土）	9:30～12:00	20名	2,000円
金融機関融資担当者向け 制度説明会	札幌市制度融資に関する総括的な紹介を行うことで、市内中小企業者へのよりの確かなアドバイスに役立てていただく。	2月17日（火）	13:30～16:00	36名	無料
創業塾（第12回）土曜コース	事業計画編	2月21日（土）	9:30～12:00	20名	2,000円
創業塾（第13回）土曜コース	売上獲得編	2月28日（土）	9:30～12:00	20名	2,000円

2015年3月 中小企業経営セミナー（受付中）

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
海外市場開拓セミナー	「素人」でもリスクを負って飛び込めば道は開ける！事例からみる海外市場開拓。	3月5日（木）	13:30～15:30	36名	2,000円
創業塾（第14回）土曜コース	手続き・許認可編	3月7日（土）	9:30～12:00	20名	2,000円
海外ビジネスへのアプローチ	海外とのビジネスにどのようにアプローチしていけばより効率的にビジネスを始められるか、必要な知識を身につける。	3月12日（木）	13:30～15:00	36名	2,000円
創業塾（第15回）土曜コース	資金計画編	3月14日（土）	9:30～12:00	20名	2,000円
フレッシュマンセミナー	ビジネスマナーや社会人としての心構え、立ち居振る舞いを身につけて、社会人としての第1歩を踏み出す。	3月24日（火）・ 25日（水）	9:30～16:30	60名	8,000円

お申し込み先

札幌市産業振興センター
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 地下鉄東西線 東札幌駅1番出口徒歩7分
電話：011-820-3122 FAX：011-820-3220 <http://www.sapporosansin.jp>